

<事務局説明>

- (1) 基本構想「施策の大綱（骨子案）」都市整備関係について
- (2) 基本構想「施策の大綱（骨子案）」土地利用構想について
- (3) 基本構想「施策の大綱（骨子案）」行財政部会について

<基本構想「施策の大綱（骨子案）」都市整備関係>

部会員

- ・「 1 いきいきと暮らせる街づくりの推進」の内容 1 に「中心市街地の再生」とあるが、かつての賑わいがダメになったという印象を受けるので、新しい中心市街地を創るという意味合いを含めて「中心市街地の創造」にしたほうが良いのでは。

事務局

- ・「創造」だと、新しく創るという意味合いが強い。現在、中心市街地活性化対策として、今ある中心市街地に賑わいを取り戻すということを検討しており、言葉の意味合いからも「再生」で良いと思う。

部会員

- ・今の中心市街地を建て直していくには、昔のよさを生かし新しいものを取り入れていかなければ、再生することすらできない時代になっている。ただ、昔のままを再生すればよいのではなく、新しく変換していかなければいけない。

部会員

- ・意味が伝われば「創造」でもよい。ただ、「中心市街地の創造」という言葉だけだと、何もない田んぼを潰して新しい中心市街地を創ると読み違えてしまう危険性がある。

事務局

- ・これから素案にしていくなかで、本日の意見を踏まえた表現を考えていきたい。骨子案では「再生」とさせて頂く。

部会員

- ・「 2 まちを結ぶ快適なネットワークの形成」の計画に向けた要素の「地域主体によるバス運行」とは。

事務局（交通政策課）

- ・現在、バス事業者が採算性の問題から廃止したバス路線に、行政主体で廃止路線代替バスを運行している。地域主体とは、現在、上田市で実施しているが、自分の地区にバスを走らせるために、地域で協賛金・負担金を集めてバス事業者に委託し、不足分を行政が支援する仕組みであり、これから進めていかなければならない手段のひとつである。

部会員

- ・地域主体の運行とは、市の財政難によりバス運行が破綻する直前の最後の対処療法のように間違った捉え方をされる可能性がある。

事務局

- ・総合計画が行政サイドだけの取組みではなく市民との協働という視点から、地域住民が積極的に、自分の足は自分で守るという意識を育ててほしいという意味合いを含んでいる。

部会員

- ・市民がそういう意識を持つことが大切であり、行政サイドでわかっていれば良い。

部会員

- ・「軌道交通との連携の推進」とあるが、長野市には路面電車等の新交通システムがないので、鉄道としたほうが市民にはわかりやすいのでは。

事務局

- ・基本計画の中に取り入れていきたい。

部会員

- ・まちづくりの方向性の「地方中核都市としての魅力と賑わいのある交流拠点のまち」とは何を指しているのか。

事務局

- ・地方中核都市とは、中核市としての制度的なことではなく、県庁所在地、交通の要衝など地方拠点として都市機能を集約して魅力を更に増やしていくという意味合いで使用している。
- ・中核市としての制度的なことや地方分権の推進については、「行政経営の方針」で触れている。ここでは、北信の拠点的な都市という意味合い。

部会員

- ・「2 まちを結ぶ快適なネットワークの形成」の中の「まち」とは地域を示したものだと思うがはっきりしないので、他の適当な言い方はないか。

事務局

- ・ここでいう「まち」は長野市全体を示し、地域間を道路や情報通信で結ぶという意味合い。タイトルなので簡潔にした。

部会員

- ・タイトル1で漢字の「街」を使っているが、特定のひとつの地域を想定しているのか。

事務局

- ・各章通して、ハード面な整備の要素が強い場合は「街づくり」、ソフト面を含めた場合は「まちづくり」とすることで共通している。6章の市街地の整備は特にハード面の要素が強いため「街づくり」と表現している。使い分けがはっきりしないという疑問が生じる場合、全体構成のなかで明確にしていきたい。
- ・国土交通省の街並み環境の整備などの要綱には、ハード面の充実を含む場合に「街づくり」と表現している。

部会員

- ・「3 ふれあい交流する人づくりの推進」の要素に中にある「県内外の拠点都市との連携ネットワークの形成」が人づくりに該当するのか。タイトル2の要素にも地域間の連携・交流の強化とあるが、タイトル3の交流との違いは何か。

事務局

- ・ タイトル3の都市連携ネットワークは、都市間で産業・観光等の様々な連携を結ぶことで、互いに足りない部分を補いながら広域的な振興・発展を図っていくもの。タイトル2では道路網の整備などにより街を結ぶことで地域間の連携や交流の強化を図っていくという意味合いで表現している。

部会員

- ・ 外国人留学生の優秀な知識を、地域づくりの担い手として生かしていくことが、人づくりに繋がるのでは。

事務局

- ・ 今後の基本計画に反映させていくか検討したい。

部会員

- ・ タイトル3に地域間連携が入るのであれば、タイトルの「人づくり」はそぐわないのでは。

部会員

- ・ タイトル3の表現は国際交流や地域間交流だけではなく、世代間交流や福祉的なものをイメージしてしまう。

部会員

- ・ 前に何か文言をつけて、「～のふれあい交流の推進」と置き換えればよいのでは。人づくりの推進を外せばすっきりする。

部会員

- ・ 「地域から世界へ広がるふれあいや交流の推進」とすればどうか。たしかに都市整備に国際交流があるのは違和感を感じる。

事務局

- ・ 本日の意見を踏まえて修正したい。

部会員

- ・ タイトル2と3の要素の中に環境整備という表現があるが、タイトル2「公共交通機関や自転車を利用しやすい環境整備」ではハード面、3「在住外国人のふれあいの促進とともに、生活しやすい環境整備」では人間関係をイメージしてしまう。同じ言葉で捉え方が全く違ってくる。

事務局

- ・ 今後、基本計画を作成していくなかで、「～の環境整備」と前段に具体的な施策を盛り込み明確にしていきたい。

部会員

- ・ 道州制の議論の中で、中部州ができた場合に長野が一番はずれに位置してしまうので、その対応や心構えについて考えていく必要がある。

事務局

- ・ 基本計画の中で検討していきたい。

部会員

- ・ 地方制度の大きな改革や新幹線網の整備などは政治的なこともあるので、あまりそのことを念頭においた計画は意味が無いと思う。

部会員

- ・まちづくりの方向性にある「個性的な地域が～」に歴史・文化に関することを加えてはどうか。

事務局

- ・個性的という表現に歴史・文化も含まれているため、まちづくりの方向性という広い視点で考えると、このままでよいのでは。

部会員

- ・まちづくりの方向性にある「緑豊かな自然と～」の「緑」は外してよいのでは。

部会員

- ・自然には水辺もあるので「豊かな自然」としたほうが、全ての自然を含められる。

事務局

- ・都市計画的に中心市街地には緑が不足している認識があるので、「緑豊か」という表現でも悪くない。(都市計画課)
- ・合併に伴い、山林の区域が増えたという意味合いも含まれている。(企画課)

部会員

- ・市旗が若竹色だから、緑を入れたほうがよい。

部会員

- ・長野市のまちづくりの方向性なので、長野らしさを明確にしていくことが大事。長野をイメージできる文書構成にするため、文書の中に「ながの」と入れてもよいと思う。

事務局

- ・長野らしさをどのように表現していくかは、各部会で議論している。合併に伴い市域が広がり市域の70%が緑地であることから、緑豊かな自然と都市機能を併せ持ち、合併を繰り返したことで、個性的な様々な地域が連なっていることが、現在の長野らしさではないかと考える。

部会員

- ・長野の特徴は高緯度・内陸都市であり、どこかに含めるべきではないか。文言等はまた考えてみる。

<基本構想「施策の大綱(骨子案)」土地利用構想>

部会員

- ・基本方針の視点に「国土の安全性の向上」とあるが漠然とし過ぎており、基本理念にある「国土の保全機能の維持向上」と表現した方がわかりやすいのでは。

事務局

- ・「国土の安全性の向上」は基本理念にある「安全で安心できる土地利用」の内容を集約した表現である。素案にしていく中で、本日の意見も踏まえてわかりやすい表現にしていきたい。

<基本構想「施策の大綱（骨子案）」行財政部会>

部会員

- ・タイトル2で「住民自治の促進」とあるが、現在の地方自治は間接民主主義であり、直接民主主義や直接請求といった意味合いが強くなるのでは。例えば、「住民本位の自治促進」とした表現ではどうか。

事務局

- ・本市が進めている都市内分権の考え方を含めており、住民自治活動を各地域において住民主導で進めていくという意味合いで、住民自治の促進としている。

部会員

- ・タイトル5の成果重視とは、何らかの数字を示していくということか。

事務局

- ・市の行っている全ての事業の成果を絶えず評価して次に繋げていくものであり、計画 実行 評価 改善を繰り返す結果として、市民満足度を高めていくものです。

部会員

- ・タイトル3の「地方拠点都市としての先導的役割」とは何を先導するのか

事務局

- ・県内で唯一の中核市として、県内の中心的な役割を担い、地方分権の推進、権限の移譲など県内の意見を国・県、全国市長会に発信している。また、長野広域圏においても全体の7割以上の人口を占めており、市域を超えたサービスを本市が先導的にリードしていく必要がある。

<事務局説明>

(4) その他 次回以降の日程について

以上